

令和2年度 事業実績報告

自 令和2年4月1日～至 令和3年3月31日

久木田学園看護専門学校

事業日程				事業内容
年	月	日	曜	
令和2年	4	1	水	新校舎（高麗町校舎）で業務開始 新任教員辞令交付式、新任教員オリエンテーション（2日まで）
		3	金	始業式（3年生）
		7	火	入学式 始業式（2年生）
		8	木	1年生オリエンテーション（9日まで）
	5	7	木	学生健康診断（1～3年レントゲン検診）
		8	金	1年生郊外研修
		22	金	合同レクリエーション
		27	水	学生健康診断（1～3年内科検診）
	6	7	日	学校説明会
		26	金	防火訓練、交通安全教室 職員健康診断
		28	日	自己推薦入試（6月募集）
	7	5	日	学校説明会
		26	日	自己推薦入試（7月募集）
		28	土	夏季休暇（1年生・2年生 8月31日まで） 夏季休暇（3年生は実習により調整する）
	8	9	日	学校説明会
		30	日	自己推薦入試（8月募集）
	9	6	日	学校説明会
		27	日	自己推薦入試（9月募集）
	10	17	土	推薦・一般入試・社会人入試（10月募集）
	11	14	土	一般入試・社会人入試（11月募集）
20		金	戴帽式	
12	12	土	一般入試・社会人入試（12月募集）	
	22	火	冬季休暇（1月4日まで）	
令和3年	1	23	土	一般入試・社会人入試（1月募集）
	2	20	土	一般入試・社会人入試（2月募集）
		21	日	看護師国家試験（福岡）
	3	5	金	卒業式
		13	土	一般入試・社会人入試（3月募集）
		17	水	終業式
		18	木	春休み（4月6日まで）

久木田学園看護専門学校 令和2年度 事業実績報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. 鹿児島県等の看護教育に対する指導等と学校の取り組み

1) 授業について

(1) 令和2年度開始当初、鹿児島県内に非常事態宣言が発令され、本校も休校措置をとらざる負えなかった。休校期間は4/20～5/6までの期間、学内専任教員の講義は自宅学習課題を提示し、授業時間を計上。外部講師の講義は、日程調整を行い後日対面授業が全て可能となる。

実習においては、実習施設により受け入れ状況は定まらず、できるだけ臨地実習先の確保を行いつつ、後半の実習計画への変更が不可能もしくは代替の実習先の確保が困難と予想される実習に関しては、行政への問い合わせを行った。そのうえで、成人看護学Ⅱ実習・在宅看護論Ⅱ実習においては、早めに学内実習計画へと計画変更を行った。令和2年度中は全ての実習受け入れ中止となった精神看護学実習については、病院での実習が新規開拓で実施できた学生は3名、その他の学生は通所リハビリ施設・就労支援事業所・学内での講話を含む学内実習等を組み合わせ、実習の代替とした。

(2) 学内実習に変更する計画と同時に在校生及び教員の自宅のネット環境調査を実施。ほぼ全員の自宅にネット環境が整備され、動画視聴が可能であることを確認した。成人看護学Ⅱ・老年看護学Ⅰ・Ⅱ・在宅看護論Ⅱ学内実習・小児看護学Ⅱ実習については、事例動画の配信サービスを導入し、学生に視聴してもらい学習を計画的に進めた。

(3) 教職員の出勤状況は、全員自家用車出勤であることから、健康状態に注意しながら学内出勤し、自宅学習期間は、学生と電話やメールでやり取りを行い支援した。

2) 全授業終了時学生に授業評価用紙を配付し、評価をしてもらっているが、集計後の分析に至っていない。今後は授業評価の結果の分析を行い、課題の明確化と改善案を検討する必要がある。

3) 今年度学生の学修を可視化する目的で、GPA制度を導入した。現学則では、卒業の要件にはなっておらず、現段階では学生の学習到達度を数字で評価する目的で使用している。今年度末に1年間の学修状況については、GPAを用いて客観的評価を各学年行った。

2) 校舎の整備について

(1) 対面授業が可能となった5/6より、時差登校や新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の為、学校側でアルコール消毒薬・マスク・フェイスシールド等の確保を行い、学生に配布をした。学習環境の整備として、各学年教室には以前から配置してあった空気清浄機の活用、サーキュレーターの新規導入、時間ごとの換気、グループワーク時の少人数での実施やフェイスシールドの着用等を実施した。また、三密を避けるなど『新しい生活様式』のリーフレットを校舎内に掲示し、学生への意識づけに努めた。教室面積と学生数の関係で授業が密になる場合は、時間差で分けて授業を行う、又は別室でグループごとにグループ学習を行う等の工夫を行った。

(2) ICTの整備については、講師用パソコンの新規買い替え、リモート会議用パソコンの新規購入を行った。Wifi環境については、校舎内及び実習棟は環境が整っていた。しかし、状況により遠隔授業が必要になると設備の面では不足が生じた。実際は2週間程度の自宅待機期間でその後は

全て対面授業が可能となり、不足の事態は生じなかったが今後も新型コロナウイルス感染症や突発的な災害発生など遠隔授業の準備については進めておかなければならない。

3) 新規実習施設の開拓

(1) 小児看護学Ⅱ実習：たんぼぼ小児科

(2) 精神看護学実習：伊敷病院

たばたメンタルホスピタル

就労支援事業所 みらいの郷

(3) 基礎看護学Ⅱ実習：米盛病院

2. 新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するために、従来の感染症対策マニュアルとは別に直ちにマニュアルを作成し、学生及び教職員に周知を図った。また、保護者にも協力を得るために保護者宛の文書を配布した。新型コロナウイルス感染症については、厚生労働省の通達及び鹿児島県からの通達に注意をはらい、常に新しい情報で行動できるようマニュアルもその都度更新した。

その他、校内各場所に注意喚起等の掲示物を掲示し、学生が新しい生活様式に順応できるよう努めた。

2) 行動記録・体調管理表の記載を学生及び教職員に義務付け、行動の自粛と健康管理に努めた。体調不良者が出た場合は、自宅待機とし体調の回復をするまで出席停止（公欠）とすることにし、講義時間数を補う目的で補講を行った学生もいた。いずれも学生に不利益が生じないよう配慮を行った。

3) 教職員が授業開始前に一斉に校舎内のアルコール消毒を行い、教室内の清掃の徹底を指導した。

また、手指衛生の徹底を図り、登校時のマスクの着用、自宅での検温等健康管理を徹底した。

4) 鹿児島県外への外出の自粛・教職員出張の中止・学会・研修会等の参加を Web 参加に変更した。

県外からの業者の来校も中止し、県内の業者等の来校時は検温等の確認を行った。

5) グループワーク・演習用にフェイスシールドを学校側で購入し、教員・前学生に配布した。またマスク入手困難時期には、学校側でマスクを一括で購入し備蓄、学生に配布の準備を行った。

6) オープンキャンパス・入学試験の際も感染対策を十分配慮し、オープンキャンパス時は密を避ける・少人数のグループで行動を分ける等の計画を立て、教職員はマスク・フェイスシールドを装着して対応した。また、入学試験の際の面接では上記対応策と飛沫防止フィルムの使用も併用した。

オープンキャンパス・入学試験それぞれ参加者・受験者にはホームページ上で県外・県内在住者別に開始時間の区別をアナウンスした。

3. 看護師国家試験対策の実施

1) 過去問題を中心に早期から学習習慣について指導し、模擬試験も定期的実施した。模擬試験結果から学習について、その都度面接し後半の対策では科目ごとの強化対策を学生の希望に合わせて実施した。

2) 成績低迷者についてグループを作り、成績上位の学生と一緒に学習することで学習力のアップを目指した。教員の指導に対し、真摯に受け止め努力した学生は、模擬試験結果も徐々に向上していった。

【看護師国家試験合格状況】

	本校合格率	新卒者全国平均
平成 30 年度 合格率	78.6%	94.7%
令和 元年度 合格率	89.5%	94.7%
令和 2 年度 合格率	86.4%	95.4%

3) 今後の対策として、国家試験強化対策を教員全体で行い、早期に成績低迷者の学習支援を行い、教員が学習状況の確認を行う。また、帰校日には必修対策を時間割に入れ、8月を目安に合格圏内を目指す。

4) 学校全体で、国家試験全員合格の目標達成のための計画を立て、低学年の対策を重視する。

4. 就職対策

1) 県内就職希望者が大半であり、令和2年度県外就職希望者は1名だった。新型コロナウイルス感染症の感染対策で、関東方面に就職試験で訪問するとその後2週間臨地実習が停止となるため、就職試験時期について、学生の相談に乗りながら、日程の調整を行ってもらった。

今年度も公立病院系は早期から就職試験が開始される。希望調査を新学期早々に行い、就職相談を実施する。

2) 22名の卒業生のうち、	看護師として鹿児島県内就職者	16名
	看護師資格取得・助産学科進学者	2名
	看護師として鹿児島県外就職者	1名
	准看護師として鹿児島県内就職予定者	3名

5. 学生募集活動

1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年度の高等学校訪問は開始時期が遅れ6月中旬以降から、訪問可能な高等学校のみ県内の各高等学校を訪問。進路指導の教諭に受験生の状況を確認し、受験のお願い、オープンキャンパスの参加を勧めて頂くよう依頼した。

2) 高等学校進学ガイダンスも中止が多く、鹿児島アリーナでの進学ガイダンス等実施されたガイダンスについては、募集要項の説明などを行った。

6. ボランティア活動

1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、久木田学園レオクラブの活動は今年度行えていない。老人福祉施設等の行事参加も行事そのものが中止となってボランティアの依頼は無かった。